



## 平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月8日

上場取引所 東

上場会社名 日本化学産業株式会社

コード番号 4094 URL <http://www.nihonkagakusangyo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 柳澤英二

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 総務部長 (氏名) 百瀬 譲

TEL 03-3873-9223

四半期報告書提出予定日 平成28年11月14日

配当支払開始予定日

平成28年12月6日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	9,264	2.2	1,109	88.6	1,181	75.5	813	75.2
28年3月期第2四半期	9,066	△5.8	588	△33.8	673	△30.9	464	△25.1

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 787百万円 (3,924.3%) 28年3月期第2四半期 19百万円 (△97.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	41.19	—
28年3月期第2四半期	23.26	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第2四半期	34,842	29,625	85.0	1,499.48
28年3月期	34,283	29,035	84.7	1,469.64

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 29,625百万円 28年3月期 29,035百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	9.00	—	10.00	19.00
29年3月期	—	10.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	11.00	21.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
通期	18,730	1.1	2,390	45.6	2,540	40.6	1,710	1.4	86.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期2Q	20,680,000 株	28年3月期	20,680,000 株
29年3月期2Q	922,855 株	28年3月期	922,765 株
29年3月期2Q	19,757,184 株	28年3月期2Q	19,967,763 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(平成28年4月1日～平成28年9月30日)におけるわが国経済は、実質経済成長率に大きなウェイトを占める個人消費が横這い状態となり、輸出は円高により減少、設備投資も日銀によるマイナス金利導入により増加が期待されたものの、先行きの成長への期待を持ちにくいことから伸び悩み等、足踏み状態が続いています。また米国経済の回復も力強さに欠け、中国経済も構造的な調整が続き、さらに、欧州経済も英国のEU離脱の影響を受ける等、世界経済の先行きも不透明なものとなっております。

このような状況のもと、当社グループは、薬品・建材事業ともに新製品や新規用途開発品を中心とした販売・生産数量の確保・拡大、新規ユーザーの開拓、価格競争力を増すための低コスト体質強化に引き続き取り組んでまいりました。同時に、海外(タイ)子会社においては主力ユーザーの事業撤退に直面したネクサス・エレケミック社の解散、清算に向けての対応、サイアム・エヌケーエス社における車載用関連製品等の安定生産、増産体制の確立への対応、国内においては福島第一工場における二次電池用正極材受託加工の安定供給、増産体制の確立等の具体的課題への対応に尽力してまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の当社グループ全体の売上高は、前年同四半期比197百万円2.2%増の9,264百万円、営業利益が前年同四半期比521百万円88.6%増の1,109百万円、経常利益が前年同四半期比508百万円75.5%増の1,181百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益が前年同四半期比349百万円75.2%増の813百万円となりました。売上高は横這いながら、利益面では原価減を主因として第1四半期に引き続き大幅な増益となりました。

なお、ネクサス・エレケミック社は、既に平成28年7月4日に開示しておりますように、今後、めっき加工事業の業績回復が見込めない状況と判断し、同日の取締役会で解散、清算を決議し、清算に向けて手続きを進めておりましたが、各納入先との交渉の結果、本年12月を持ちまして解散する目途が立ちました。その清算による連結業績への影響は、既に固定資産の減損等、前期、前々期にマイナス要素を処理していることから、軽微なものと考えております。

セグメントの業績は、次のとおりとなります。

## [薬品事業]

主力の薬品事業は、国内においては、納入先の複数購買化、生産拠点の海外シフトおよび中国経済減速の影響等により販売数量が伸び悩みましたが、海外においては、サイアム・エヌケーエス社における更なる新製品である車載用関連製品2品目の実績化されたことから、売上高は前年同四半期比101百万円1.3%増の7,694百万円となりました。

利益面では、国内においては、福島第一工場における二次電池用正極材受託加工で一層の増産が可能となったこと等に加え、海外においても、ネクサス・エレケミック社の営業損失が、前期に行った減損処理およびリストラ対応等により縮小する一方、サイアム・エヌケーエス社の車載用関連製品2品目の実績化が寄与し、海外子会社全体で営業利益がプラスに転じたこともあり、薬品事業全体の営業利益は前年同四半期比494百万円112.7%増の932百万円と大幅に増加しました。

## [建材事業]

消費税増税前の駆け込み需要の反動減の影響で新設住宅着工戸数が依然として低調に推移したことに伴い、住宅建材関係において主力製品である防火通気見切り縁は減少したものの、かねてより準備を進めてきた新製品が実績化されたことにより、売上高は前年同四半期比96百万円6.6%増の1,570百万円となり、営業利益も前年同四半期比59百万円15.9%増の432百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は、売上債権および棚卸資産が減少したものの、現金及び預金が増加したことにより、前連結会計年度末比575百万円増の22,876百万円となりました。一方、固定資産は、投資その他の資産で投資有価証券の一部で株価が上昇したことにより、前連結会計年度末比155百万円増の6,470百万円と増加しましたが、有形固定資産が本社隣地の取得に関わる増加はあったものの、既存設備の減価償却が進んだことにより前連結会計年度末比171百万円減の5,446百万円と減少したことにより、全体で前連結会計年度末比16百万円減の11,965百万円となりました。この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ558百万円増の34,842百万円となりました。一方、負債は、流動負債が前連結会計年度末比108百万円減の4,240百万円となり、固定負債が前連結会計年度末比77百万円増の976百万円となったため、全体で前連結会計年度末比30百万円減の5,216百万円となりました。また、純資産は、前連結会計年度末比589百万円増の29,625百万円となり、その結果、自己資本比率は前連結会計年度末の84.7%から85.0%となりました。

## (キャッシュ・フローについて)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、営業活動によるキャッシュ・フローで1,388百万円増加、投資活動によるキャッシュ・フローで318百万円減少、財務活動によるキャッシュ・フローで146百万円減少し、この結果、換算差額による影響なども含めると、当第2四半期連結累計期間末は、前連結会計年度末に比べ885百万円増加し、13,736百万円となりました。また、前年同四半期比では2,228百万円の増加となりました。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金は、1,388百万円の増加（前年同四半期は1,821百万円の資金の増加）となりました。この主な要因は、法人税等の支払額487百万円があったものの、税金等調整前四半期純利益が1,144百万円、売上債権の減少297百万円、減価償却費352百万円等により資金が増加したこと等です。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金は、318百万円の減少（前年同四半期は480百万円の資金の減少）となりました。この主な要因は、投資有価証券の償還による収入100百万円があったものの、有形固定資産の取得による支出が384百万円あったこと等です。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金は、146百万円の減少（前年同四半期は245百万円の資金の減少）となりました。この主な要因は、短期借入金の純増額が57百万円であったものの、配当金の支払額が196百万円あったこと等です。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の連結業績予想につきましては、現在までのところ概ね当初予想の範囲内で推移しているため、平成28年5月13日公表の予想から変更いたしていません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	13,151,732	14,136,861
受取手形及び売掛金	5,948,717	5,607,704
商品及び製品	963,064	860,791
仕掛品	975,539	1,060,356
原材料及び貯蔵品	1,038,075	997,287
繰延税金資産	148,613	148,499
その他	77,244	66,584
貸倒引当金	△1,640	△1,560
流動資産合計	22,301,348	22,876,525
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	1,846,267	1,758,034
その他(純額)	3,771,467	3,688,604
有形固定資産合計	5,617,734	5,446,638
無形固定資産		
	49,257	48,211
投資その他の資産		
投資有価証券	3,027,771	3,205,398
繰延税金資産	203	682
その他	3,288,895	3,266,313
貸倒引当金	△1,570	△1,570
投資その他の資産合計	6,315,300	6,470,824
固定資産合計	11,982,292	11,965,675
資産合計	34,283,641	34,842,201
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,102,720	2,152,686
短期借入金	566,400	607,150
未払法人税等	496,046	356,567
賞与引当金	325,000	350,000
役員賞与引当金	25,000	15,000
資産撤去引当金	33,000	-
その他	800,506	758,912
流動負債合計	4,348,674	4,240,316
固定負債		
繰延税金負債	385,462	485,877
環境対策引当金	9,532	9,532
退職給付に係る負債	314,797	297,447
資産除去債務	129,746	131,081
その他	59,475	52,527
固定負債合計	899,013	976,466
負債合計	5,247,687	5,216,782

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,034,000	1,034,000
資本剰余金	613,767	613,767
利益剰余金	26,965,062	27,581,348
自己株式	△461,547	△461,616
株主資本合計	28,151,281	28,767,498
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	719,259	912,165
為替換算調整勘定	300,907	68,749
退職給付に係る調整累計額	△135,496	△122,996
その他の包括利益累計額合計	884,671	857,919
純資産合計	29,035,953	29,625,418
負債純資産合計	34,283,641	34,842,201



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	9,066,431	9,264,391
売上原価	7,262,687	6,915,347
売上総利益	1,803,743	2,349,044
販売費及び一般管理費	1,215,390	1,239,583
営業利益	588,353	1,109,460
営業外収益		
受取利息	11,549	9,092
受取配当金	33,739	35,160
不動産賃貸料	28,655	28,420
その他	37,362	38,714
営業外収益合計	111,307	111,386
営業外費用		
支払利息	5,940	6,503
売上割引	5,351	4,152
賃貸収入原価	13,978	12,696
為替差損	-	15,345
その他	1,122	515
営業外費用合計	26,393	39,213
経常利益	673,267	1,181,633
特別利益		
固定資産売却益	24	249
受取補償金	181,865	-
特別利益合計	181,890	249
特別損失		
固定資産除却損	7,714	3,939
減損損失	67,305	-
特別退職金	8,329	33,857
特別損失合計	83,348	37,797
税金等調整前四半期純利益	771,809	1,144,086
法人税等	307,403	330,227
四半期純利益	464,406	813,858
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	464,406	813,858

## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益	464,406	813,858
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△419,865	192,905
為替換算調整勘定	△21,693	△232,157
退職給付に係る調整額	△3,287	12,500
その他の包括利益合計	△444,847	△26,751
四半期包括利益	19,559	787,106
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	19,559	787,106
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	771,809	1,144,086
減価償却費	371,750	352,092
減損損失	67,305	-
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△220	△80
賞与引当金の増減額(△は減少)	△15,000	25,000
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△7,500	△10,000
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△9,632	-
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	8,491	△15,568
資産撤去引当金の増減額(△は減少)	-	△33,000
債務保証損失引当金の増減額(△は減少)	△8,673	-
固定資産除却損	7,714	3,939
固定資産売却損益(△は益)	△24	△249
特別退職金	8,329	33,857
受取利息及び受取配当金	△45,289	△44,252
支払利息	5,940	6,503
受取補償金	△181,865	-
売上債権の増減額(△は増加)	923,692	297,105
たな卸資産の増減額(△は増加)	417,124	32,238
仕入債務の増減額(△は減少)	△321,013	62,868
未払消費税等の増減額(△は減少)	△11,375	△63,963
その他	△91,586	54,132
小計	1,889,975	1,844,711
利息及び配当金の受取額	46,063	45,018
利息の支払額	△5,951	△6,515
特別退職金の支払額	△8,329	△6,837
法人税等の支払額	△282,027	△487,846
補償金の受取額	181,865	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,821,595	1,388,530
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の払戻による収入	800,000	300,000
定期預金の預入による支出	△900,000	△300,000
有形固定資産の取得による支出	△339,350	△384,699
有形固定資産の売却による収入	1,020	250
投資有価証券の取得による支出	△514	△338
投資有価証券の償還による収入	-	100,000
生命保険積立金の解約による収入	-	2,787
生命保険積立金の積立による支出	△17,898	△17,822
その他	△24,235	△18,733
投資活動によるキャッシュ・フロー	△480,978	△318,555

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	761,000	1,034,750
短期借入金の返済による支出	△689,014	△977,200
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△9,446	△7,419
自己株式の取得による支出	△139,365	△69
自己株式の売却による収入	10,597	-
配当金の支払額	△178,944	△196,588
財務活動によるキャッシュ・フロー	△245,174	△146,526
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,469	△38,319
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,092,973	885,129
現金及び現金同等物の期首残高	10,414,968	12,851,732
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,507,941	13,736,861

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	薬品事業	建材事業	計		
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	7,592,986	1,473,444	9,066,431	—	9,066,431
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	7,592,986	1,473,444	9,066,431	—	9,066,431
セグメント利益	438,313	373,154	811,467	△223,113	588,353

(注) 1.セグメント利益の調整額△223,113千円は、報告セグメントに帰属しない提出会社本社での総務部等管理部門に係る費用であります。

2.セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	合計
	薬品事業	建材事業	計		
減損損失	67,305	—	67,305	—	67,305

## II 当第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	薬品事業	建材事業	計		
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	7,694,367	1,570,024	9,264,391	—	9,264,391
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	7,694,367	1,570,024	9,264,391	—	9,264,391
セグメント利益	932,371	432,417	1,364,788	△255,328	1,109,460

(注) 1.セグメント利益の調整額△255,328千円は、報告セグメントに帰属しない提出会社本社での総務部等管理部門に係る費用であります。

2.セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。